

南会津の隠れた秀峰へ
会津朝日岳・蒲生岳

実施日 2022年10月14(金)～15日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 峯川 弘子
 参加者 宇野輝代、峯川弘子 計2名
 費用 JR新幹線往復8,764円(東京
 駅起算 ジパンダ適用)
 宿泊費4,620円(旅行支援ク
 ーポン有)/レンタカー(2日
 高速・ガス)@10,095円
 タイム 10/14 蒲生岳登山口(12:03)
 鼻毛通し分岐(13:03)
 蒲生岳山頂(13:52-14
 :00)登山口(15:32)🚗
 駅前旅館只見荘
 10/15 宿(5:40)会津朝日岳登
 山口(6:20)三吉ミチギ(7:
 25)人見の松(8:45-8:52)
 叶の高手(9:18)バイウチ
 の高手(10:20)会津朝日
 岳山頂(11:00-11:25)往路
 を下山～登山口(15:05)

10/14 越後湯沢駅は小雨とガス、
 蒲生岳は中止かな？と話しながら
 レンタカーで出発。

1時間走らせ小出ICに到着、そ
 こから国道252号線で新潟県と
 福島県の県境八十里越えに到着
 すると青空が出迎えてくれた。
 山は少し黄色く色づいているが
 紅葉と言うにはまだ早い。

新潟から会津方面をつなぐ国道
 は山の中、福島県側に入ると「祝
 おかえり只見線」という看板が
 あちこちに。

国道下側に只見線の線路が見え
 た。電車が来ないかな？と期待
 しながらのドライブにテンション
 も上がる。途中、所々でカメ
 ラを抱えた観光客が車を止めて
 いる、後ろ髪ひかれながら只見町

に入り蒲生岳登山口に到着した。
 只見線蒲生駅目の前にたたずむ
 尖った山容に、えっ？ここを登るん
 か～い(笑)



ピストンで3～4時間
 の山ではあるけれど、山栗がいっぱい
 落ちている平坦な登
 山道を少し歩くと

きなり急登、ひたすら急登。
 鼻毛通し分岐に着き、標識にゆる
 りやかな道と書かれている鼻毛
 通しコースを選択、1時間少し

でヤマレコで見
 た鼻毛通し到着。
 でも岩場の連続
 でぜんぜんゆる
 りやかなコースじ
 ゃない。鼻毛
 通しは岩の空洞貫
 通から松の木が貫
 通してこの名前



が付けられたとのこと。そこか
 らはさらに岩場、鎖場、おもしろ
 いが、下りは気を引き締めな
 ければ！



山頂直下から只見
 町と青い只見湖、
 その上を通る只見
 線が一望、青空で
 とてもいい眺望
 でした。

12時過ぎからの登
 山なので滑落しな
 いよう気をつけて急ぎめで下山。

只見駅前の宿に到着、本当に只
 見駅の目の前だ。入浴後、夕飯
 までの間、只見駅に着く電車を
 見学して、楽しい夜を過ごしま
 した。

10/15 今日は長丁場、朝ごはん
 をお弁当にしてもらい宿から車
 で約25分ほどで登山口に到着す

ると、駐車場はあと数台で満車状態、早出して良かったー！



スタートは傾斜のない登山道をしばらく歩く、渡渉を3回、ぐっと傾斜が増してきた。宿のご主人に聞いた通り

山は紅葉していて、歓声をあげ、の松」まで急な傾斜、息が上がる中



りつくくと、雲海の上に越後三山、右手には会津駒、左近くには浅草岳が見えた！そこから歩行的早い宇野さんに先行してもらい、CLは自分のペースで後を追う。見事な紅葉に癒されながら「叶の高手」を通過、すぐに朝日の大クロベに出会い、感激するも、そこからは一旦、かなりの下り、またまたキツイ傾斜に息を切らして「バイウチの高手」に登り上げた。



ようやく会津朝日岳の山頂に続く尾根が見えた、さらに色づいた紅葉が美しい！山頂直下から所々ロープのない長い滑りやすいスラブ状の岩の上を登ってようやく山頂到達、わっしょーい！見事な紅葉と

眺望！待って、宇野さんと合流し、合食の頃か、い



勢いでガスが上がってきた、

下山開始。山頂直下のスラブは下山時は逆層スラブで滑る、滑る。



登ってきたピークをまた登り返し、また渡渉を超え登山口到着15時05分、早朝から約8時間50分の行程。会津朝日、想定以上にタフな山でした。店が少ない只見町、只見駅前の観光協会併設の土産物店で3,000円のクーポンを使う為に地場産の舞茸や味噌など爆買い？（笑）

ありがとう只見町！！

【会津朝日岳行程について】

- ・昭文社地図越後三山 (2016年度版) 6:40
- ・YAMAP最新版 7:35
- ・駅前旅館只見荘ご主人 9:00

今回の行程は休憩込みで8:50 YAMAPは休憩込みで8:35 只見荘ご主人の助言、休憩込みで約9時間みてと言われました。今回はYAMAPと只見荘のご主人の助言が正しかった。事前リサーチしても参加者当日の体調や登山道の整備状況によって行程時間は大幅に変動する。過去に行ったことのある山でも災害等や登山道の付け替えなどで行程時間は年々変動する。最新の情報が必須と実感しました。水害で数年入山禁止だったこの会津朝日岳の登山道が無報酬で整備された只見町の登山関係者の方々に本当に感謝です。こぶし会御嶽山山行や雨天やコロナ渦で中止した3年越しの計画を実施することができて感無量です。

(記&写真・峯川 弘子)